

CT 造影検査「同意書」

検査日 令和 年 月 日 時 分

※『CT検査問診票』の記載も必要です

紹介元病院

医師

■ 造影検査とは

※緊急連絡先：福島労災病院（0246-26-1111）

○腕などの静脈から造影剤を投与しておこなうCT検査です。造影剤によって病変の有無、性質、範囲がより詳細に描出することが可能となります。投与する造影剤は比較的安全な薬剤ですが、稀に副作用が発現するおそれがあります。

■ 危険性・副作用について

○造影剤を急速に注入するために、血管外に造影剤が漏れると注射した部位が腫れて痛みを伴うこともあります。

通常、時間がたてば吸収されますので心配ありませんが、場合によっては処置が必要になることがあります。

○副作用：造影剤を投与することで下記症状が発現することがあります。

・軽い副作用(100人に3人)：吐き気、嘔吐、蕁麻疹、発疹 など。

・重い副作用(2.5万人に1人)：血圧低下、呼吸困難、意識消失など。極めて稀ですが、死亡例もあります(30万人に1人)。

・遅発性副作用：稀ですが、投与後1時間～1週間経過後にかゆみなどが発現する場合があります。

○ビグアナイド系糖尿病薬を服用時、乳酸アシドーシスが現れることがあります(嘔吐、下痢、腹痛)。

○アレルギー体質の方は、造影剤による副作用を生じる可能性が2倍高いとされています。

○気管支喘息の方は、副作用を生じる可能性が10倍高いとされており、造影剤を投与できないことがあります。

○甲状腺機能亢進症の方は、甲状腺クリーゼ（頻脈、血圧上昇、動悸、大量発汗、体のほてり、手の振戦）をきたす可能性があり、造影剤を投与できないことがあります。

■ 下記①～⑤の設問にお答えください。 はい、いいえのどちらかをマルで囲んでください。

① 現在の体重を記入してください	<	Kg>
② 以前にヨード造影剤による副作用症状を起こしたことがありますか？	はい	いいえ
③ 甲状腺機能亢進症や甲状腺中毒症と言われたことがありますか？	はい	いいえ
④ 気管支喘息で現在治療中ですか？	はい	いいえ
⑤ <紹介元病院職員が記入> eGFRが30未満である	はい	いいえ

※設問②～⑤に一つでも『はい』がある場合、造影検査は出来ません

■ 同意書 福島労災病院で検査することに 同意します 同意しません

令和 年 月 日

患者氏名（署名）：

代諾者氏名（署名）：

（患者との続柄： ）

- ・腎機能悪化をきたす疾患：多発性骨髄腫（注意：高カルシウム）、痛風
- ・造影剤による皮膚反応の危険因子：IL2治療
- ・褐色細胞腫、傍神経節腫等の疑い患者：造影剤投与時の急激な血圧上昇への対応が必要
- ・β遮断薬を服用の患者：まれにアドレナリン無効の場合あり、グルカゴン対応が必要

2022年9月改訂 福島労災病院

	日付	検査値
Cr		
eGFR		
	技師確認	